

景気回復ってホントですか!? 実感ないのに押し寄せる負担!



異常に上がり続ける「灯油」や「ガolin」 このままじゃやっていけない! 緊急対策が必要です!

1 缶 1,600 円から始まった昨年の灯油は、3 月には 1,800 円にもなり、県民や被災地を苦しめました。原因は原油の高値や円安に便乗して、石油元売会社が灯油だけを異常に値上げしたためでした。

今年はどうなるのでしょうか?

残念ながら、原油の高値はそのまま、加えて急激な円安(1 ドル 80 円⇒100 円)が追い打ちをかけ、現在 1 缶 1,800 円になっています。冬になったらもっと上がる可能性もあります。

円安の影響は、これから食料品やさまざまな輸入品の値上げとなってくらしに押し寄せます。加えて9月からの電力料金の値上げや、来年からは消費税増税も予定されています。景気回復の実感は全くないのに、どうして私たちへの負担は増える一方なのでしょうか? 仕方ないと我慢しないで、その元凶や問題がなにかを知り、政府や県へくらしを守る対策を要求しましょう。不当なこと、問題あることにはきちんと抗議の声をあげ、社会的にも訴えましょう。

9・3緊急灯油学習集会

と き **9月3日(火)10:30~12:30**

ところ **岩手県水産会館5階大会議室**

講 師 **二宮 厚美先生(神戸大学名誉教授)**

「止まらない石油製品の値上がり!

くらしと地域経済はどうなるのか」(仮称)

家計を苦しめる灯油高やさまざまな負担増は何が原因で、このままではどうになってしまうのか、私たちに出来ることは何かをわかりやすく話して下さい。格差や貧困をすすめる経済政策を批判し、地方が安心して暮らせる社会になるにはどうすればいいのか、熱く語る講演会は全国にファン多数です。灯油の季節を前にぜひ聞いて行動していきましょう。



主催: 岩手県生活協同組合連合会・岩手県消費者団体連絡協議会

くらしを考えるネットワークいわて

問い合わせ・連絡先 岩手県生協連 電話:019-684-2225 FAX:019-684-2227